

株式会社サンコー

札幌市中央区北2条西2丁目32番地 第37桂和ビル3F
TEL: (011) 252-3511 FAX: (011) 252-1788

URL <http://www.sancoh.co.jp>

会社概要

- 代表者 代表取締役社長 寺西 保
- 会社設立 1950年
- 資本金 4,800万円
- 従業員 100名(うちアルバイト32名) *身体障がい者3名
- 事業内容 情報処理サービス業



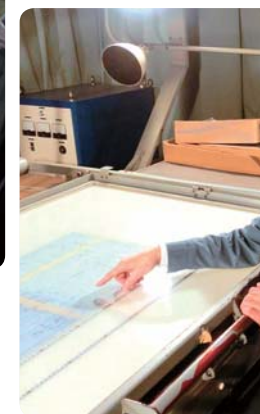
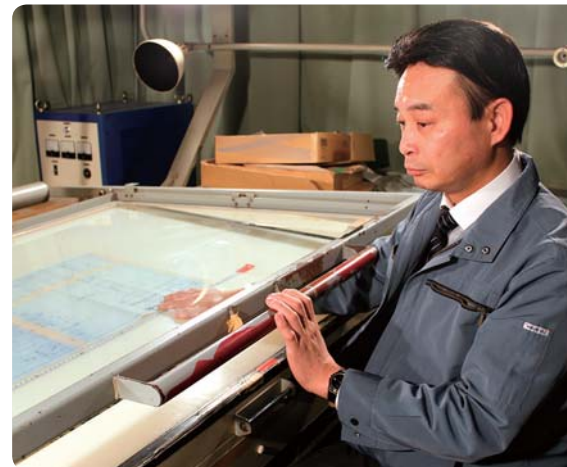
障がい者雇用について伺いました



最初に障がいのある人を雇用したのは50年前という(株)サンコー。当時から障がいのあるなしを問わず、採用していたという事実からも分かる通り、障がい者に対する理解は大変深くなっています。話を伺った品川さんは本来の業務はもちろん、社内の調整役として大活躍されていました。

社員を大切にする姿勢、思いやりのある雇用を

当社には50年以上前から障がいのある人を雇用してきた土壌があるので、障がいのある人がいる社内風景は、ごく普通のことになっています。品川さんのように、自分の仕事以外に社員の互助会活動として、駐車場の確保や車輛管理に取り組んでくれる方もおり、皆さんは各部署において、なくてはならない存在となっています。また、



当社には勤務中に脳梗塞で倒れ、半身に障がいの残った方がいます。その方は休職期間を満了し職場復帰を果たしましたが、これは当社の雇用規定内の処遇であり、障がいが残ったからといって解雇するようなことはありません。こうしたケースに会社はどのように対応するのか、他の社員は見ています。従業員を大切にする姿勢を示すことによって、社員は愛社精神や忠誠心を抱くと思います。今後も雇用する側の責任として、思いやりを持ってサポートしてい

く方針です。

昔から障がいのある人がいて、当たり前職場

当社では障がいのある人も障がいのない人と同じ条件で勤務していますので、障がいのある人がいるのは、ごく自然なことになっています。当社は情報系の企業なので、絶えず技術革新や挑戦を続けなければなりません。最先端を追い求める一方で、社員を守っていく姿勢は、今後も変えることなく、

株式会社サンコー

URL <http://www.sancoh.co.jp>



大切にしていこうと思っています。

障がいの有無はもちろん、 今後は国籍も問わず採用を

今後も障がいの有無ではなく、能力次第、人物本位で採用していく所存です。さらに当社は、ベトナムにシステム開発拠点の設立に至りました。従ってこれからは国籍も問わない方針であり、むしろ積極的に現地の方を採用したいと考えています。

障がい者雇用を増やし、 一層の社会貢献を

社会貢献という観点から言えば、障がいのある人を雇用する企業が増えることが望ましいですね。当社と同様に、他の企業にも障がいのある人、ない人の分け隔てなく、雇用をお願いしたいと思います。



(株)サンコー
品川 正之さん

サンコーが社員増を図っていた昭和54年に入社しました。現在はファイリングプロジェクトという部署でマイクロ写真を担当しています。また、互助会活動として駐車場の管理や会社所有の車輛管理も行っていますが、社員のチームワークが良いので、意見をまとめるのに苦労はありません。日頃、障がいがあるということ意識せずには働けるのは、周囲の皆さんが自然に受け入れてくれているからだと思っています。



インタビュー後記

互助会の活動も率先して行う品川さんは、社員から何かと頼りにされる存在だけに、取引先からの信頼も厚いとか。穏やかな語り口と優しい笑顔が、多くの人を自然に惹き付けるのではないのでしょうか。